

■ 図書紹介 ■

朝倉隆太郎先生退官記念会編『社会科教育と
地域学習の構想』 (明治図書,昭和60年)

松岡尚敏

本書は、地域を社会科教育の立場から総合的に根本的に研究してみようとするねらいの下に書かれたものである。

近年、「地域に根ざす教育運動」「地域に根ざす教育実践」等のスローガンの下で、教育にとっての地域の意味、学校教育にとっての地域の意味が問われている。そうした動きの中で、社会科教育においても、認識論・教材論・学習指導論などの立場から、地域のもつ意味が再検討されている。1970年代以降、「地域に根ざす社会科教育実践」としての優れた実践も発表されるようになってきた。それにもかかわらず、大勢としては、地域学習を小学校の中学年に限定したり、社会科教育にとっての地域の意味をあいまいにしたままで論じられているものが多い。本書は、こうした実状に対して、社会科教育の立場から地域のもつ意味を総合的に研究し、その研究を基礎にして地域学習を構想していこうとする意図の下に編集されている。そのため、28人にも及ぶ執筆者の顔ぶれは、社会科教育学の研究者だけでなく、多くの分野にわたっており、その論文もバラエティに富んだものとなっている。

本書の構成と執筆者は次の通りである。

- | | |
|------------------------|-------|
| I 社会科教育と地域学習 | 朝倉隆太郎 |
| II 社会諸科学における地域 | |
| 1. 地理学における地域 | 正井泰夫 |
| 2. 歴史学における地域 | 長瀬守 |
| 3. 社会学における地域 | 中村八朗 |
| III 社会科教育の本質と地域 | |
| 1. 地理教育と地域 | 小峯勇 |
| 2. 歴史教育と地域 | 横山十四男 |
| 3. 公民教育と地域 | 梶哲夫 |
| IV 社会科教育における地域把握の歴史的展開 | |
| 1. 戦前の郷土教育における地域認識 | 寺本潔 |

| | |
|------------------------------|-----------|
| 2. 戦後初期の「地域教育計画」論と地域学習の課題 | 森 茂 岳 雄 |
| 3. 民間教育団体の地域学習論 | 二 谷 貞 夫 |
| V 諸外国の社会科教育における地域の学習 | |
| 1. アメリカの社会科におけるコミュニティの学習 | 江 口 勇 治 |
| 2. イギリスの初等・中等学校における地域学習 | 宮園 衛・渡辺敦子 |
| 3. 西ドイツ基礎学校における郷土教育 | 大 友 秀 明 |
| 4. 中国における郷土学習 | 木 山 徹 哉 |
| 5. 韓国における郷土教育 | 松 嶋 光 保 |
| VI 地域の学習の実践と研究 | |
| 1. 小学校社会科における地域学習 | 佐 島 群 己 |
| 2. 中学校社会科における校外学習 | 渋 沢 文 隆 |
| 3. 大都市地域内における中学生の都市イメージと都市学習 | 大八木 直 子 |
| 4. 定時制高校における地理学習の課題 | 小 林 滋 |
| 5. 自然環境のまとめとしてのランドサット画像の活用 | 梅 内 康 博 |
| 6. 地理的位置の認知に関する基礎的研究 | 阿 南 崇 |
| 7. 「ふるさと意識」の調査 | 上 笹 恒 他 |
| VII 社会科教育の地域的課題 | |
| 1. 地域文化と社会科教育 | 佐 藤 照 雄 |
| 2. 地域社会と消費者教育 | 山 根 栄 次 |
| 3. 地域社会と有権者教育 | 高 柳 英 雄 |
| 4. 地域主義と社会科教育 | 松 本 敏 |
| 〈付〉 やせ地の麦 | 朝 倉 武 夫 |

こうした構成をみてもわかるように、本書の特色は、社会科教育の立場から、地域のもつ意味を総合的に考察している点にある。この総合的という言葉の意味するところは以下の3点である。まず第1に、地域について教育学のみでなく、地理学・歴史学・社会学といった社会諸科学からも考察を試みている(Ⅱ章)といった、学問領域上での総合的という意味である。第2には、社会科教育史の過去・現在・未来にわたり、社会科教育と地域とのかかわりについて考察を試みているといった、時間的変遷上での総合的という意味である。すなわち、社会科教育史(社会科成立以前も含めて)の各時代において、地域がどうとらえられてきたか、またそれらが我々に残した課題は何であったかという考察(Ⅳ章)のみならず、今後、社会科教育が地域とどうかかわっていけばよいかという新たな可能性を探るといった考察(Ⅶ章)もなされている。第3には、日

本の社会科教育における地域学習の考察のみならず、諸外国での地域の学習をも考察している（V章）といった、空間的広がりでの総合的という意味である。特に、欧米諸国だけでなく、中国や韓国といったアジア諸国の郷土教育についても言及されている点は珍しい。

いずれにしても、今後ますます社会科教育にとっての地域の意味が論議されていくであろう現時点において、本書が刊行された意義は大きいといえる。地域学習に関心をいだいている社会科教育の関係者にとっては必携の書物である。

（筑波大学大学院）